

間伐による根系の発達

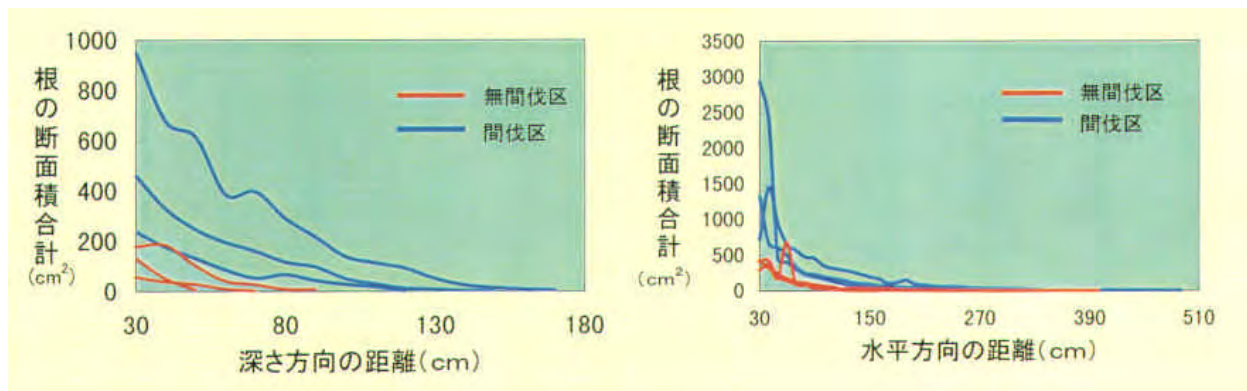
樹木の根系には山腹の表層崩を防止する働きがあることは、広く知られています。しかし、どのような森林が崩壊防止機能を高度に発揮するかについては、詳しくはわかっていません。そこで、実際にトドマツ人工林(37年生)の無間伐区(2075本/ha)と間伐区(600本/ha)から、それぞれ3本ずつ根っこを丸ごと掘り出して、その分布形態を調べてみました。

その結果、間伐区の根は無間伐区に比べ、地中深くに伸び、さらに水平方向にも広がって、間伐によって根系の発達が促進されることがわかりました。



間伐区のとどまつの根系

(防災林科)



間伐区と無間伐区での根の発達の違い